



Japan
Food
Research
Laboratories

第 12040980001-02 号 page 1/3

2012年(平成24年)06月28日

試験報告書

依頼者 株式会社 B-FIRST

財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 R0水素水サーバー

表 題 遊離残留塩素ろ過能力試験

2012年(平成24年)06月07日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

遊離残留塩素ろ過能力試験

1 依頼者

株式会社 B-FIRST

2 検体

R0水素水サーバー

3 試験概要

JIS S 3201 : 2010「家庭用浄水器試験方法」回分式浄水器によって、遊離残留塩素ろ過能力を試験した。

4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 遊離残留塩素ろ過能力試験結果

ろ過水量 (L)	流量 (L/min)		水温 (℃)	遊離残留塩素 (mg/L)		除去率 (%)
	ろ過水	排水		ろ過水	原水	
4000	0.22	0.34	23	検出せず	2.1	97以上

定量下限 : 0.05 mg/L

5 試験条件

水 : 水道水(東京都多摩市)
水の処理 : 活性炭 PMC250-200[クラレケミカル株式会社]
中空糸膜 ステラポアーPK0型[三菱レイヨン株式会社]
原水の設定 : 濃度 2.0 mg/L $\pm$ 0.2 mg/L
水温 20 $^{\circ}$ C $\pm$ 3 $^{\circ}$ C
通水条件 : 動水圧 0.1 MPa
通水操作 連続通水(貯留タンクを使用しない状態)
1日の通水時間 可能な限り連続通水
測定方法 : DPD吸光光度法

6 除去率の算出

次式により算出した。

$$\text{除去率(\%)} = \frac{\text{原水測定値} - \text{ろ過水測定値}^*}{\text{原水測定値}} \times 100$$

* 定量下限未満の場合は、定量下限値を使用

以 上